



(奨学生に贈る言葉)

2023 年卒業生

北海道大学 A

いかがお過ごしでしょうか。私は大学2年生からご支援いただいております。奨学金による支援があつてこそ、金銭的、心理的にゆとりが生じ、勉学に専念できたと思います。奨学金の使い道は人それぞれだと思いますが、ぜひ、熟考したうえで、これだ!といえる用途に使うといいかと思ひます。

少々辛くとも自身の成長に繋がるようなことに使えば、後々、充足感や達成感を味わうことができ、常に初心を忘れずに奨学金を使うことができるかと思ひます。

例えば、価格の高い難しい本を買ってみたり、語学学習のためだったり、すぐに成果となるものは現れないけれど、継続した努力の先に得られるものがあるかもしれないようなことです。

このようなことにお金を使うのは大学生のうちしかできないことだと思ひます。自戒を込めて述べると、すぐに何かを得たい気持ちが先走り、短期的な成果や快楽を求めてしまいそうになったとき、我慢して、継続した努力を惜しまないことが大事だと思ひます。

そうすることで何か大きなことを成し遂げるためのチャンスが訪れると思ひます。

ぜひ、後輩の皆さんも与えられた奨学金を最大限、自身の成長に繋げてください。

健闘を祈っています。

青山学院大学 B

私が後輩の方にお伝えしたいことは、お金がないことを理由に自分が興味を抱いたことを追求することを断念したり、夢を諦めたりしないで欲しいという事です。

大学を卒業し、社会に出るとき後悔のないように、今貴重な時間をぜひ過ごしていただきたいと思ひます。

周囲にはご自身を感わす悪い誘惑がたくさんあるかもしれませんが、周りに流されずご自身らしく学生生活を楽しんで下さい。

慶應義塾大学大学院 C

学生という期間は自由に過ごすことができます。このことは、自分が好きなことを追いかけられる一方で、どこまでもだらけてしまうこともできるという事を意味します。

学部生の頃から研究や仕事で大人と一緒に働いている人もいれば、大学に入ったところから何ら変わってない人もいますという事です。

私が思うに両者を分ける重要な違いは、最初の一步を踏み出したかどうかです。成長していく人は自分を動かすことが上手で、多くの場合外部のイベントを利用することが得意です。ここでいうイベントは、遊びのイベントというより勉強会やコンペティション、簡単なものだと誰かと共有している締め切り等の事です。

イベントという外の世界からの入力をうまく自分に与えられれば、良い方向に自分を動かす（出力）ことができます。

もし大学生活を有意義なものにしたいのであれば、イベントを積極的に活用することを心掛けてみてください。きっと素敵な経験ができると思います。

芝浦工業大学 D

私が皆さんに伝えたいことは大きく二つあります。

一つ目は、自分の好きなこと興味を持ったことに対しては、とことん突き詰めて行動して下さい。私自身、学生時代に坂茂建築展のボランティアに参加し、建築は設計だけでなく施工の面白さに気づき、技術屋に憧れを抱き現在の職種につくことができました。まだ働いて間もないですが夢や目標を持って働くことができるし幸せを感じています。

大学生活は人生の夏休みと言って良いほど時間があるので好きなことや興味のあることから夢や目標を見つけて努力して欲しいと思います。

二つ目は、仲間や人との出会いを大切にして下さい。社会人になっても自分が苦しい時、楽しい時、そばにいてくれるのは、いつも友達です。仲間で出会った人達にいつも思いやりを持って過ごして下さい。

コロナウイルスの影響で想像していた大学生活を送れないかもしれません。ですが、考え方、行動の仕方によっては想像を超える大学生活になるかもしれません。

前向きに物事をとらえ、楽しい大学生活が送れることを心より願っております。

芝浦工業大学 E

我々奨学生は、育英財団のおかげで学業に専念できる環境が整っています。その感謝を忘れずに、勉学に励んでいただきたいです。

その中で是非新しいことに挑戦し続けて欲しいです。社会人になると会社の業務があり、自分の為に使える時間が少なくなります。だからこそ、学生が自由に使える時間を大切にして下さい。自分が知らない学問を学んだり、訪れたことのない場所を自分の目で見たり、

様々な知識、経験を積んでください。それらの知見はきっと将来の役に立ちます。
悔いのないように頑張ってください。

聖マリアンナ医科大学 F

私たちは新型コロナウイルス感染症により、これまでの生活が一変し新たな生活様式・社会通念が生まれつつある激動の時代に、大学生という将来を大きく左右する時間を過ごすことを余儀なくされました。

オフラインでのコミュニケーションは非常に制限され、そういった意味では経験不足に悩まされる瞬間があるかもしれません。

一方でオンラインの経験、例えばビデオ通話やボイスチャットというものを利用したコミュニケーションで言えば、コロナ禍以前に大学に在学されていた先輩方よりは経験が豊富です。

オフラインの重要性が薄れることは無いと思いますがICT技術が飛躍的に進歩している現代において、今後ますますオンラインのコミュニケーションの重要性が増してくることは明白です。失われた機会を嘆くのではなく、新たな機会を得たとプラスに考え、その中で大きく成長されることを切に願っています。

東洋大学 G

好きなことや興味のあることに力を入れることが、将来の自分の強みになると思います。

東洋大学 H

大学生の間は、小中高生や社会人に比べて時間があり、様々な経験をする機会があると思います。また、大学には様々な人がいて、毎日何かをしながら頑張っている人もいれば、授業にあまり出ずに遊んでいる人がいるのも事実です。

私は大学4年間を通じて日本語教育について学び、日本語ボランティアで日本語を教えていました。毎週活動があって大変なことも沢山ありましたが、今となっては活動がこれ以上できないことが寂しいし、4年間目一杯活動に参加することができて良かったと思います。

友達と遊ぶのもとても楽しいですが、何か自分が心から好きだと思うものなどに打ち込んでやり遂げることは時間がないと難しいです。

ぜひ、時間が比較的自由に使える大学生のうちに、好きなものを見つけて打ち込んでみてください。

明治大学 I

この4年間、私は様々な経験をしました。その中で1つ学んだことは「お金の大切さ」です。母子家庭で育った私は、東京で私立の大学に進学させてもらっていることで周り

の金銭感覚の差に悩むことが多くありました。

奨学金をいただいているので、仕送りは一切もらわずアルバイトで自らの生活費を稼いでやりくりしていましたが、食費、交通費、その他生活に必要なものを買うお金と友人やサークルでの出費があり、常にアルバイトをしていないと生活できない日々でした。

ある時、アルバイト先の社長が給料日直前に全て持って失踪しました。

前月に働いた14万円分のお給料がもらえなくなったのです。毎月生活費を稼ぐので精一杯だった私にとって、致命的で絶望的な出来事でした。

また、12月に入るお給料だったこともあり年末年始に控えていた旅行の資金にしようとしていましたが、それも諦めざるを得ませんでした。社長に責任はありますが「貯金」をしていなかった私にも落ち度があります。

この先社会に出て「貯金」が一番大切です。お金がないと生きていけないと身を持って体感したこの経験から後輩の皆さんに伝えたいです。

こうした私たちが生きていけるのは、誰かが一生懸命に働いているからということを絶対に忘れてはいけません。

感謝の気持ちを忘れず、今できることを精一杯悔いなくやって欲しいです。

立教大学 J

奨学生の皆さん、大学生のうちにはしかできない沢山の経験をして、沢山の感情を抱いて下さい。大学の研究に打ち込んだり、アルバイトを頑張ったり、サークルなどで沢山の仲間を作ったり。そして、たまに授業をさぼってみたり、訳の分からないことにお金を使ったり、友達と飲みすぎたり。そうした経験が人生を豊かにしていくのだと思います。

ただ、周りに人への感謝はいつも忘れずにいてください。家族や友人、そして支援をしてくださっている育英財団さんに感謝しながら、学生時代の思い出を沢山作って下さい。

立教大学 K

4年間の大学生活というのは、長いようで短く感じられました。何かを行うには十分な時間ではありますが、何も考えずに過ごしていると気づいたら、失くなっているような時間でもあると思います。

自分自身コロナ禍であった大学2年生の記憶は薄く、その期間だけ無かったような感覚です。しかし同じコロナ禍でも、その状況の中でできることは模索し、様々な活動や経験を得た大学3年生の印象や記憶は強くそのことが今の自分を形成していると思っています。

恐らく時間が豊富にあり、活力もある時期は後にも先にも大学4年間という期間しかないと思うので、やりたい事を全力でやることをお勧めします。

早稲田大学 L

コロナによる制約も少しずつ緩和され、出来ることが増えてくるかと思います。そうした中で、出来る事、やりたい事、やらなければいけない事を取捨選択する場面が出てくると思うので、自らを客観視しながら全力でチャレンジしてみてください。

私も頑張りますが、こうした奨学生というご縁のある皆様のご活躍をお祈りいたします。

早稲田大学 M

学生時代には是非いろいろなことに挑戦して欲しいです。何か上手くいったことがあれば、それが自信になります。その自信が次の挑戦の助けとなり、次なる成功体験を生み出します。

挑戦とは成功の好循環を生み出すものです。逆に何もしなければ何の自信も生まれず、自信がなく迷いがあるとき、物事が上手くいくことは少ないです。

恐れず挑戦をして、成功の好循環を生み出しましょう。

早稲田大学大学院 N

私は、学生時代多くの方々とお話する機会がありました。その中で思ったことは、自分に近いコミュニティだけでなく、まったく違ったバックグラウンドを持った人との交流もすることの大切さに気づきました。

一人一人違った価値観を持っていて、様々な、様々な人との会話を通して自分の視野の狭さや、自分の考え方がはっきりと見えるようになりました。

まだ、社会人を経験したことがないため、違うかもしれませんが、学生と社会人との違いは責任感だと思います。もちろん学生には学生の責任があります。しかし、学生だからこそ失敗を恐れず、いろいろなことに挑戦できる絶好のチャンスだったと思います。

忙しい学生生活でも、やりたいという強い意思さえあれば、工夫して色々なことができると思います。学生時代が終わるときに“あれをやればよかった”という後悔がないように思いっきり楽しんでください。

同志社大学 O

私が大学をした今、思うことは大学の4年間は人生で一番貴重な期間だという事です。何をするのも自分次第、大きく成長するのも、反対に無駄にするのも自分次第です。

この4年間でどう過ごすかによって、今後の人生が大きく変わってくると思います。自分の学びたい事、やりたいことをやり遂げられたこと胸を張って言える人は、自信を持って社会に羽ばたいていけるとと思います。

実際に私の周りで社会人に希望を持っているのは、充実した4年間で過ごしてきた人たちばかりです。とはいっても、やはり、思う存分遊んで、学生のうちしかできない経験を

して下さい。社会人になると思うように休みが取れなかったりします。

ご支援いただいている育英財団や家族、友人への感謝の気持ちを忘れずに、今しかできないことを沢山経験して欲しいと思います。

京都大学 P

私は奨学金を受け取った経験から皆さんに伝えたいことがあります。

奨学金をもらえることはとても素晴らしい機会です。皆さんの持つ才能や努力を評価していただけることは本当に嬉しいことです。

しかし、奨学金を貰うことがゴールではなく、そのお金、またそれによって生まれた時間を用いて何ができるかが大切です。

奨学生として大学生として何を学べるか、それが学業である必要はありません。大学の外にも多くの学びがあります。それを意識しながら一日一日を大切に過ごしてください。

横浜国立大学 Q

私は大学生生活の4年間に何の悔いもありません。

こう言いきれるのは、育英財団の皆様のご支援や家族、友人の応援のおかげで、自分のやりたい事や興味のあることに対して、全力で取り組める環境があったからだと思います。

時にはその道中で逃げ出したい時や辛い時もあると思います。そんな時には、皆さんを支え、応援してくれている周りの人のいることを思い出すと、自分がもう一歩前に踏み出すための活力になるかもしれません。

自分を信じて頑張ってください！ 皆様のご活躍を心よりお祈りしています。

和歌山県医科大学 R

大学生活は楽しい事や大変なことなど沢山あると思います。私も大学生活を送っていたときは楽しい事だけでなく、大変だということも何度もありました。

でも大学を卒業した今、大学生活を振り返ってみると、楽しい事だけでなく、大変だった時間も含めてすべてがいい思い出になっています。

そのように大変だった時間も素敵な時間だったと思えるのは、それだけ自分が頑張ってきたからなのだと気がきました。

その時は大変でも、その頑張りはきっと自分自身の強みになると思います。だからこそ大変だと感じる時間も大切にしたいです。

私は大学生活の中で大変だと感じる事が何度かありましたが、そのたびに周囲の人に助けられ、人の温かさというものに触れました。そういった人との出会いやつながりは自分自身にとって本当にかげがえのない財産だと思います。

皆さんもこれから、大学生活の中で沢山の出会いがあると思いますが、その出会いに一

一つを大切にしたいです。頑張ってください。応援しています。

愛知大学 S

後輩の皆さんへ

新型コロナウイルスが流行する以前の生活に戻りつつある現在、如何お過ごしでしょうか。講義、部活動、サークルなど大学生活も戻りつつあると思います。

私自身コロナで大学生活が制限されてしまいましたが、同じ境遇を共有した大学の友人は私の宝物です。大学で出会えた友人、教授、先輩はこれからの人生で大切な存在になります。

社会に出て心がくじけそうな時、励みになります。コロナ禍の大学生活を送っていた当時は実感が湧きませんでした。卒業してやっと気づくことができました。

皆さん、今は実感が湧かないかもしれませんが、そんな大学生活を謳歌してください。それが皆さんにとって、良い宝物になることを願っています。

京都産業大学 T

人との縁を大切にしたいです。奨学生の皆さまは同級生や先生など今まで多くの方に支えられて様々な壁を乗り越えられてきたかと思います。

お世話になった方に感謝を伝える事はもちろんですが、それ以上に他の方に恩を返してみてください。それがお世話になった方への最大の恩返しになります。

そうすれば、良縁は広がり躓いた時など手助けしてもらえるかと思います。